

3 道路緑化樹木の推移

3.1 目的

全国の道路緑化樹木の本数や使用する樹種の推移を把握し、道路緑化に関する基礎資料とすることを目的とした。

3.2 方法

本章では、道路緑化樹木現況調査の対象範囲を全国に広げた1987年（昭和63年）以降の道路緑化樹木現況調査結果を中心にデータを集計・比較して解析を行った。各年の調査の方法は「第2章 道路緑化樹木現況調査」の「2.2 方法」と同様である。

3.3 結果

3.3.1 本数の推移

図-3.1、図-3.2に全国の高木および中低木の本数の推移を示した。

高木は、1987年から1992年の5年間で107万本、1992年から1997年の5年間で143万本、1997年から2002年の5年間で58万本増加したが、2002年から2007年の5年間では12万本の減少となっており、1992年から1997年の143万本をピークに増加本数は減少傾向にある。

中低木は、1987年から1992年の5年間で3,056万本、1992年から1997年の5年間で3,860万本、1997年から2002年の5年間で2,157万本、2002年から2007年の5年間で1,251万本の増加となっており、1992年から1997年の3,860万本をピークに増加本数は減少傾向にある。

図-3.3、図-3.4に道路延長あたりの高木および中低木の本数の増加を示した。

高木は、1987年から1992年の5年間で0.8本/km、1992年から1997年の5年間で1.1本/km、1997年から2002年の5年間で0.4本/km増加したが、2002年から2007年の5年間では0.2本/kmの減少となっており、1992年から1997年の1.1本/kmをピークに増加本数は減少傾向にある。

中低木は、1987年から1992年の5年間で26.2本/km、1992年から1997年の5年間で31.9本/km、1997年から2002年の5年間で17.0本/km、2002年から2007年の5年間で8.1本/kmの増加となっており、1992年から1997年の31.9本/kmをピークに増加本数は減少傾向にある。

3.3.2 樹種の推移

表-3.1、表-3.2に道路緑化に使用されている樹種の本数の上位10種を調査年毎に示した。

高木では、イチョウ、サクラ類、ケヤキ、トウカエデ、クスノキ、ナナカマド、プラタナス類の7種は、1987年以降20年間上位10種に入っている。中でもイチョウ、サクラ類、ケヤキの3種は、1992年以降上位3種に入っている。4位以降については、調査年次毎に順位が変化しているが、近年の特徴としては、1987年に3位であったプラタナス類の本数が減少して順位を落としていることと、ハナミズキの本数の増加が著しく、1997年に7位に入り、2002年以降4位となっていることがあげられる。

1987年以降の20年間に於いて、高木の総本数は1.8倍に増加したが、20年間上位10種に入っている7種のうち、高木全体よりも本数の増加率が高いものは、ケヤキ(3.6倍)、クスノキ(2.1倍)、サクラ類(1.9倍)である。なお、これらの7種のうち、プラタナス類のみが20年間で本数を減少(0.6倍)している。

このような樹種の推移の理由として、プラタナス類は、成長が旺盛で剪定に手間がかかり、寿命が短く倒れやすいなど、一般的に管理がしにくいいため、本数を減らしたと考えられる。ケヤキも同じ傾向をもつが、樹形の美しさが好まれたため、逆に本数を増やしたと考えられる。ハナミズキは、花や紅葉の美しさに加えて、樹高があまり高くならずに管理がしやすいなどの長所をもつため、本数を増やしたと考えられる。クスノキは、常緑広葉樹のため年間を通じて豊かな緑を提供することや、都市景観に風格を与えること、管理に比較的手間がかからないなどの長所をもつため、本数を増やしたと考えられる。サクラ類は、花の美しさや都市景観を美しくするなどの長所をもつため、本数を増やしたと考えられる。

中低木では、上位の3種のツツジ類、シャリンバイ類、アベリア類は1987年以降の20年間で変動がない。また、サザンカ類は1997年を除き4位を維持している。5位以降は調査年次毎に順位が変化しており、近年の特徴としては、ヘデラ類、セイヨウツゲ、ヒペリカム類が上位10種に入ってきたことがあげられる。

1987年以降の20年間に於いて、中低木の総本数は2.8倍に増加したが、ツツジ類はこの間2.4倍に増加している。また、ツツジ類は1987年以降の20年間に於いて常に総本数の40%前後を占めているが、ツツジ類が多いのは、花の美しさに加えて、病害虫にかかりにくく、強剪定に耐えて管理が容易であることなどによるものと考えられる。

また、植栽本数の変動が見られる高木について、樹種の多様性の構成比の推移を図-3.5に示した。全国調査の始まった1987年に上位5種が全体本数の3割強、上位10種が全体本数の5割前後を推移しており変化が少ない。また、総樹種数も1992年の500種類を境に増加がほとんどなく、頭打ちの傾向にある。

図-3.6～図-3.15及び表-3.3～表-3.12に、1987年以降の20年間に於ける上位樹種の変動と樹種の多様性の推移を地方毎に示した。

北海道は、ナナカマドが一貫して1位で高い割合を示している。また、アカエゾマツ、日本産カエデ類が増加しており、プラタナス類が減少している。樹種はナナカマド、アカエゾマツ、ハルニレ、シラカンバなど北海道の地域特性に合った樹種が選択されている。上位5種及び上位10種の割合が低下し、樹種の多様化の傾向が見られる。

東北は、ケヤキ、サクラ類、イチョウ、ナナカマド、トウカエデなど全体的に減少傾向を示している。上位5種及び上位10種の割合が低下し、樹種の多様化の傾向が見られる。

関東は、イチョウが一貫して1位を占めているが、本数の増加はあまり多くない。サクラ類は、2～3位を維持しているが、20年間で本数が約2倍になっている。また、ハナミズキは、20年間で本数が5倍以上になっているが2002年から2007年にかけて減少傾向を示している。プラタナス類は、2002年から2007年にかけて本数が約30%減少した。上位5種及び上位10種の割合が低下し、樹種の多様化の傾向が見られる。

北陸は、ケヤキ、サクラ類、ハナミズキ、アカマツ・クロマツ類、モミジバフウ、サルスベリ類の増加が著しく、プラタナス類は減少している。イチョウ、トウカエデは、上位を維持しているが、本数の増加はあまり多くない。上位5種及び上位10種の割合が低下し、樹種の多様化の傾向が見られる。

中部は、トウカエデは 2002 年以降、イチョウに代わり 1 位を維持している。高木の総本数の増加と併せて、上位種の多くが本数を増加させているが、中でもサクラ類、ハナミズキ、ケヤキの増加が著しい。上位 5 種及び上位 10 種の割合はあまり変化がないが、他の地域とほぼ同じ水準であり、樹種の多様性は維持されていると考えられる。

近畿は、ケヤキ、クスノキ、シラカシの増加率が大きい。また、2002 年以降はサザンカ類、ハナミズキが上位に入ってきた。上位 5 種及び上位 10 種の割合はあまり変化がないが、他の地域とほぼ同じ水準であり、樹種の多様性は維持されていると考えられる。

中国は、1987 年以降サクラ類、ケヤキの増加が著しかったが、いずれも 1997 年をピークに、以後は減少傾向に転じている。また、モミジバフウが上位に入っていることが特徴である。なお、1987 年に 1 位だったプラタナス類は一貫して本数が減少している。上位 5 種及び上位 10 種の割合は、近年は横ばいであるが、他の地域とほぼ同じ水準であり、樹種の多様性は維持されていると考えられる。

四国は、モミジバフウ、クスノキ、マテバシイが安定して上位を維持しているが、これらの 3 種は、高木の総本数の増加率以上に増加が大きいことが特徴である。特に、モミジバフウの増加率は、2002 年から 2007 年にかけて 4 倍以上となっている。上位 5 種及び上位 10 種の割合は、近年は他の地域とほぼ同じ水準であり、樹種の多様性は維持されていると考えられる。

九州は、他地域と比較して上位種の変動が少ないことが特徴である。また、ホルトノキなど他地域でこれまでに見られなかった樹種も上位に入っている。上位 5 種及び上位 10 種の割合はあまり変化がないが、他の地域とほぼ同じ水準であり、樹種の多様性は維持されていると考えられる。

沖縄は、上位 10 種は九州以北と全く異なっていることが特徴である。また、リュウキュウコクタン、フクギの増加が著しい。上位 5 種及び上位 10 種の割合は、1997 年まではあまり変化がなかったが、2002 年以降は割合が低下し、樹種の多様化の傾向が見られる。

図-3.16 に高木上位 50 種の合計本数のうち外来種本数が占める割合を示した。

1987 年以降の 20 年間で外来樹の本数は増加しているものの、構成比は減少し、在来種の使用が増加する傾向が読み取れる。外来種の構成比が減少した理由としては、前述した管理のしにくさからプラタナス類などの使用が控えられていることのほか、近年では地域の特色を活かしたまちづくりが求められており、ケヤキやクスノキ、シラカシなど、周辺の自然植生の構成樹種を用いる機会が増えていることがあげられる。

3. 3. 3 樹木タイプの推移

図-3.17 に全国の樹木タイプの構成比の推移を示した。

1992 年から 1997 年の間で落葉広葉樹の割合が減少し、常緑広葉樹の割合が増加している。この変化は、前述「3.3.2 樹種の推移」で述べたクスノキなどの増加によるものと考えられる。

図-3.18 に地域別の常緑広葉樹の割合の推移を示した。

沖縄では一貫して高い割合を示しているが、割合は減少傾向を示している。また、1997 年以降では、中国、九州でも割合が減少傾向を示している。また、四国は 2007 年に 2002 年よりも割合が減少しており、概して西日本では常緑広葉樹の割合が減少傾向を示している。その一方で、関東、近畿では常緑樹の割合は増加傾

向を示しており、従来、現存植生に基づき常緑広葉樹の植栽に適するとされてきた西日本以外の地域において常緑広葉樹の植栽が増加していることが伺われる。

3. 3. 4 今後の課題

道路緑化の目的は、緑陰や都市景観の形成、交通安全機能に加えて、防災機能、二酸化炭素の吸収、生物の生息空間としての機能など多方面にわたる一方で、病虫害の発生や日陰になってしまうなどの理由により沿道住民から迷惑施設と見られてしまうこともある。

また、植栽された樹木の高齢化により幹芯が空洞化し、強風に対する抵抗力が弱くなることで倒木の恐れが生じるなど、新たな問題も出てきている。二酸化炭素の吸収量の増加、好適な生活環境や良好な景観の形成に向けて、一層の道路緑化の推進が重要であることはもちろんであるが、国民に対する街路樹への理解の呼びかけや維持管理の質の向上も重要となってくるであろう。そして、ひきつづき全国の道路緑化について基礎的な調査を継続するとともに、道路緑化の機能やその効果を全国レベルで把握するために必要な情報を収集・公開して、道路緑化事業の効果的な推進に役立てることが必要である。

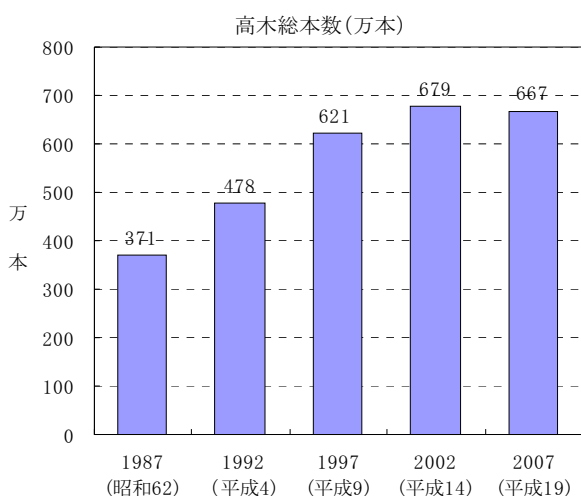


図-3.1 全国の高木本数の推移

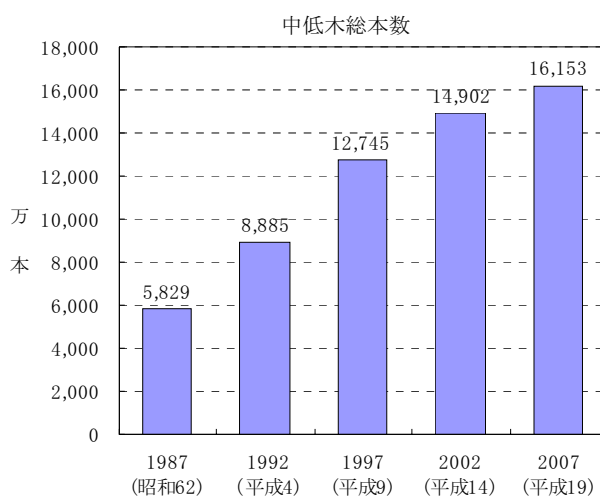


図-3.2 全国の中低木本数の推移

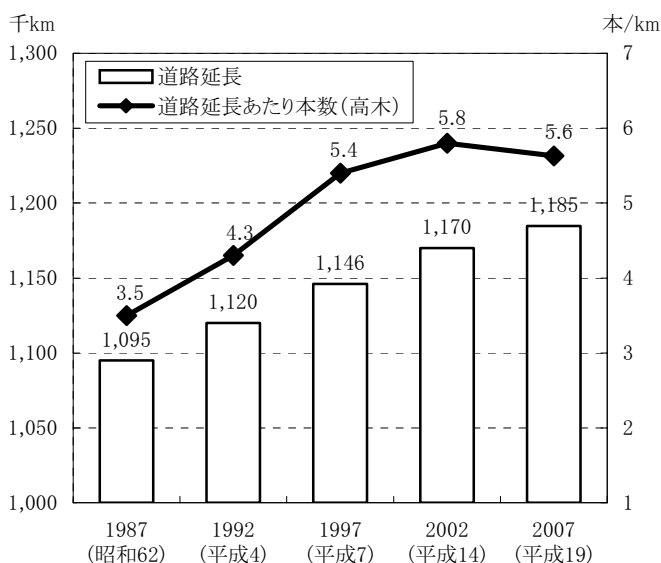


図-3.3 道路延長あたりの高木本数の推移

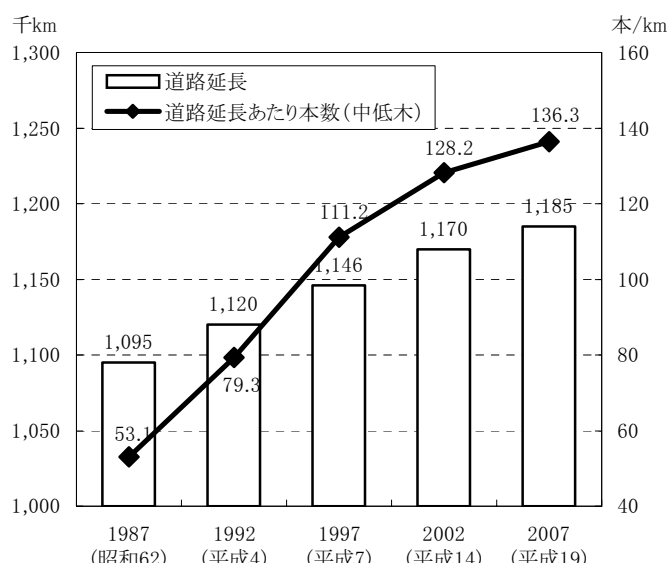


図-3.4 道路延長あたりの中低木本数の推移

表-3.1 道路緑化樹木（高木）の上位10種の推移

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		対前回 調査割合 (%)
	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	
1	イチヨウ	486	イチヨウ	552	イチヨウ	591	イチヨウ	619	イチヨウ	572	92
2	サクラ類	260	サクラ類	346	サクラ類	428	サクラ類	520	サクラ類	494	95
3	プラタナス類	258	ケヤキ	305	ケヤキ	412	ケヤキ	476	ケヤキ	478	101
4	トウカエデ	238	トウカエデ	281	トウカエデ	317	ハナミズキ	343	ハナミズキ	333	97
5	ケヤキ	133	プラタナス類	251	クスノキ	247	トウカエデ	330	トウカエデ	317	96
6	カシ類	129	クスノキ	193	プラタナス類	229	クスノキ	286	クスノキ	271	95
7	クスノキ	128	ナナカマド	162	ハナミズキ	210	プラタナス類	205	モミジバフウ	196	131
8	ナナカマド	110	日本産カエデ類	140	ナナカマド	193	ナナカマド	196	ナナカマド	196	100
9	シダレヤナギ	109	モミジバフウ	120	シラカシ	179	サザンカ類	176	プラタナス類	163	80
10	ニセアカシア	106	マデバシイ	112	日本産カエデ類	144	モミジバフウ	149	日本産カエデ類	150	110
	総本数	3,708	総本数	4,785	総本数	6,208	総本数	6,786	総本数	6,675	98

注)カシ類はシラカシを含む

表-3.2 道路緑化樹木（中低木）の上位10種の推移

順位	1987(昭和62)		1992(平成4)		1997(平成9)		2002(平成14)		2007(平成19)		対前回 調査割合 (%)
	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	樹種名	本数 (千本)	
1	ツツジ類	25,107	ツツジ類	37,578	ツツジ類	54,574	ツツジ類	61,532	ツツジ類	61,449	100
2	シャリンバイ	4,971	シャリンバイ	7,057	シャリンバイ類	8,754	シャリンバイ類	8,945	シャリンバイ類	9,519	106
3	アベリア	3,756	アベリア類	6,369	アベリア類	8,352	アベリア類	8,608	アベリア類	9,486	110
4	サザンカ類	2,542	サザンカ類	3,851	ツゲ類	6,910	サザンカ類	5,195	サザンカ類	5,578	107
5	ツゲ類	2,330	ツゲ類	3,322	サザンカ類	3,778	ヘデラ類	5,154	ヘデラ類	5,079	99
6	イヌツゲ	1,428	ドウダンツツジ類	2,027	ドウダンツツジ類	2,758	ホンツゲ類	4,601	ドウダンツツジ類	4,648	107
7	ハマヒサカキ	1,294	イヌツゲ類	1,937	トベラ類	2,742	ドウダンツツジ類	4,331	セイヨウツゲ	4,484	-
8	トベラ	1,249	トベラ	1,757	ヘデラ類	2,356	ヒベリカム類	2,789	イヌツゲ類	3,048	112
9	ウバメガシ	1,067	ハマヒサカキ	1,692	ハマヒサカキ	2,170	イヌツゲ類	2,713	ヒベリカム類	2,750	99
10	ネズミモチ	888	ネズミモチ類	1,337	ウバメガシ	1,921	ハマヒサカキ	2,046	ハマヒサカキ	2,009	98
	総本数	58,288	総本数	88,852	総本数	127,451	総本数	149,022	総本数	161,529	108

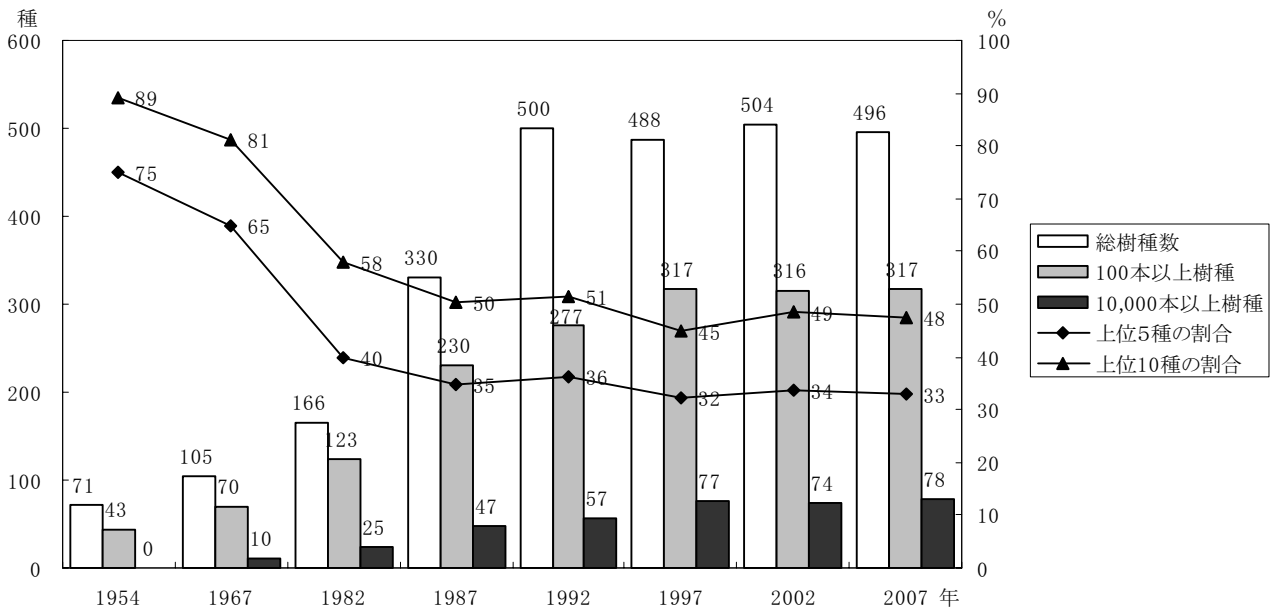


図-3.5 高木の樹種数と高木の上位樹種の割合の推移

表-3.3 高木上位10種の推移（北海道）

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ナナカマド	90,530	20	ナナカマド	125,406	19	ナナカマド	140,529	16	ナナカマド	141,449	17	ナナカマド	147,199	15
2	ニセアカシア	49,808	11	イチョウ	51,598	8	日本産カエデ類	63,912	7	イチョウ	63,228	7	イチョウ	67,177	7
3	プラタナス類	44,870	10	日本産カエデ類	49,505	8	イチョウ	60,908	7	サクラ類	60,659	7	サクラ類	63,662	7
4	イチョウ	38,279	8	ニセアカシア	47,254	7	アカエゾマツ	57,621	7	日本産カエデ類	46,577	5	アカエゾマツ	58,069	6
5	カエデ類	31,500	7	プラタナス類	44,148	7	サクラ類	54,958	6	ハルニレ	42,841	5	日本産カエデ類	56,532	6
6	サクラ類	30,304	7	サクラ類	34,238	5	プラタナス類	43,651	5	プラタナス類	39,483	5	ハルニレ	47,729	5
7	シラカンバ	22,330	5	シラカンバ	31,964	5	ニセアカシア類	38,446	4	ニセアカシア	38,264	4	ニセアカシア	39,145	4
8	マツ類	16,345	4	ハルニレ	28,690	4	ハルニレ	35,730	4	アカエゾマツ	34,386	4	プラタナス類	39,003	4
9	ニレ類	15,394	3	アカマツ・クロマツ類	26,597	4	シラカンバ	34,171	4	ブンゲンストウヒ	34,158	4	シラカンバ	38,525	4
10	クロマツ	13,178	3	アカエゾマツ	21,404	3	アカマツ・クロマツ類	29,279	3	シラカンバ	31,062	4	ブンゲンストウヒ	32,532	3
総本数	461,507			652,035			864,945			856,791			961,296		
上位5種	55%			49%			44%			41%			41%		
上位10種	76%			71%			65%			62%			61%		

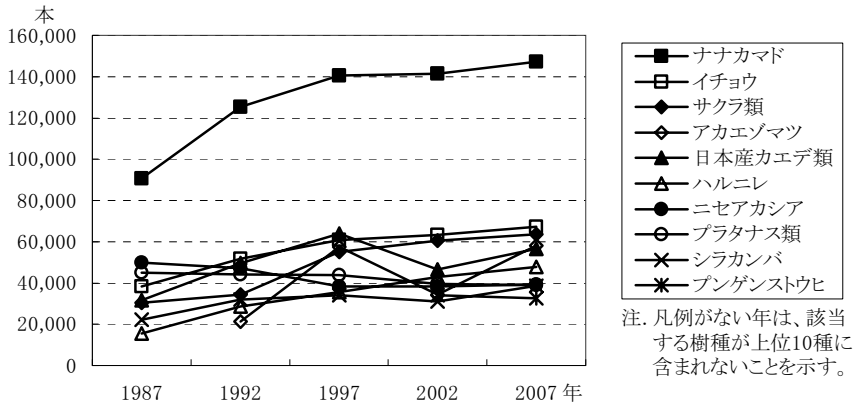


図-3.6 主要樹種本数の経年変化（北海道）

表-3.4 高木上位10種の推移（東北）

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	34,133	16	イチョウ	51,311	14	ケヤキ	50,137	13	ケヤキ	55,518	12	ケヤキ	52,700	12
2	ケヤキ	22,434	11	日本産カエデ類	32,851	9	サクラ類	36,210	9	サクラ類	45,086	10	サクラ類	42,908	10
3	トウカエデ	21,812	10	ケヤキ	32,251	9	イチョウ	35,979	9	イチョウ	38,768	9	イチョウ	36,146	8
4	サクラ類	17,211	8	トウカエデ	28,560	8	ナナカマド	34,505	9	ナナカマド	38,134	9	ナナカマド	35,549	8
5	プラタナス類	15,984	8	プラタナス類	23,503	7	トウカエデ	33,553	9	トウカエデ	32,941	7	トウカエデ	31,088	7
6	ナナカマド	11,947	6	ナナカマド	23,231	6	ハナミズキ	17,036	4	ハナミズキ	29,016	6	ハナミズキ	22,493	5
7	カイズカイブキ	8,873	4	サクラ類	20,584	6	プラタナス類	15,597	4	ユリノキ	15,432	3	ユリノキ	13,073	3
8	ユリノキ	8,738	4	エンジュ	16,618	5	ユリノキ	14,452	4	プラタナス類	14,610	3	日本産カエデ類	11,382	3
9	カエデ類	8,542	4	ユリノキ	12,532	3	サワラ類	11,358	3	日本産カエデ類	10,507	2	プラタナス類	11,111	3
10	シダレヤナギ	7,442	4	イブキ類	9,852	3	カツラ	8,917	2	ヤマボウシ	9,876	2	アカマツ・クロマツ類	10,576	2
総本数	207,889			358,722			393,173			447,031			439,338		
上位5種	54%			47%			48%			47%			45%		
上位10種	76%			70%			66%			65%			61%		

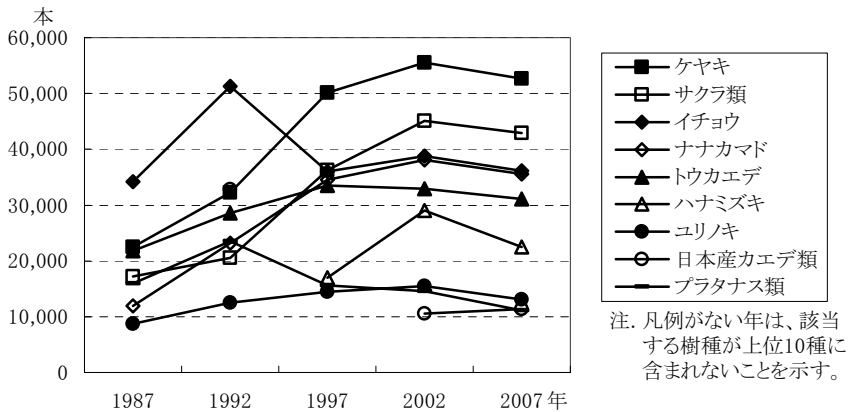


図-3.7 主要樹種本数の経年変化（東北）

表-3.5 高木上位10種の推移 (関東)

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	176,465	18	イチョウ	194,827	16	イチョウ	201,033	15	イチョウ	223,953	12	イチョウ	187,226	11
2	ブラタナス類	77,142	8	サクラ類	107,290	9	サクラ類	117,939	9	ハナミズキ	180,728	10	ハナミズキ	158,567	10
3	サクラ類	80,506	8	ケヤキ	91,795	8	ハナミズキ	106,208	8	サクラ類	164,599	9	サクラ類	137,249	8
4	トウカエデ	75,074	8	トウカエデ	82,802	7	ケヤキ	98,681	7	ケヤキ	129,617	7	ケヤキ	115,486	7
5	ケヤキ	62,539	6	ブラタナス類	73,924	6	トウカエデ	88,471	6	トウカエデ	104,551	6	トウカエデ	90,921	5
6	マテバシイ	45,328	5	ハナミズキ	64,462	5	ブラタナス類	70,473	5	ブラタナス類	77,464	4	マテバシイ	62,720	4
7	エンジュ	39,259	4	ユリノキ	53,008	4	ユリノキ	56,658	4	マテバシイ	73,794	4	ユリノキ	57,885	3
8	ユリノキ	37,160	4	マテバシイ	50,753	4	マテバシイ	56,180	4	クスノキ	64,616	3	ブラタナス類	56,816	3
9	ハナミズキ	30,100	3	エンジュ	38,934	3	クスノキ	43,362	3	ユリノキ	64,326	3	クスノキ	50,850	3
10	シダレヤナギ	26,737	3	クスノキ	33,237	3	エンジュ類	38,225	3	エンジュ	45,038	2	キョウチクトウ	45,341	3
総本数	966,802			1,214,647			1,375,186			1,849,807			1,662,598		
上位5種	49%			45%			45%			43%			41%		
上位10種	67%			65%			64%			61%			58%		

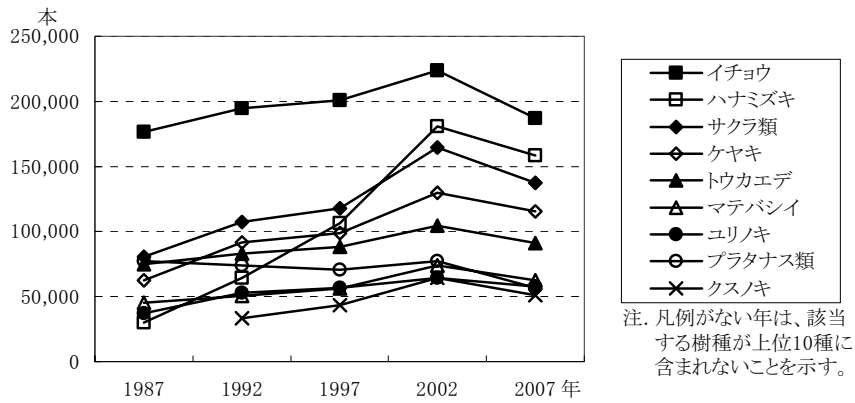


図-3.8 主要樹種本数の経年変化 (関東)

表-3.6 高木上位10種の推移 (北陸)

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	22,773	23	イチョウ	26,494	18	ケヤキ	29,957	13	ケヤキ	38,071	16	ケヤキ	42,885	16
2	トウカエデ	11,650	12	ケヤキ	19,740	13	イチョウ	24,915	11	イチョウ	26,497	11	イチョウ	26,678	10
3	ケヤキ	10,248	10	サクラ類	13,684	9	アカマツ・クロマツ類	18,871	8	サクラ類	20,702	9	サクラ類	23,546	9
4	ブラタナス類	9,852	10	アカマツ・クロマツ類	12,276	8	トウカエデ	17,564	8	ハナミズキ	14,887	6	ハナミズキ	20,207	7
5	サクラ類	9,522	9	トウカエデ	10,412	7	サクラ類	15,478	7	トウカエデ	10,695	4	アカマツ・クロマツ類	13,580	5
6	ニセアカシア	8,473	8	モミジバフウ	6,653	4	ハナミズキ	10,704	5	アカマツ・クロマツ類	9,632	4	トウカエデ	10,378	4
7	モミジバフウ	6,479	6	ブラタナス類	5,624	4	ブラタナス類	6,701	3	ユリノキ	5,976	3	モミジバフウ	9,197	3
8	シダレヤナギ	5,846	6	シダレヤナギ	5,142	3	ユリノキ	6,352	3	ブラタナス類	5,963	3	サルズベリ類	8,408	3
9	ユリノキ	4,443	4	ユリノキ	4,916	3	ナナカマド	5,755	2	モミジバフウ	5,844	2	シラカシ	7,149	3
10	カイズカイブキ	3,555	4	ニセアカシア	4,395	3	ヤナギ類	5,541	2	ヤマボウシ	5,572	2	ヤマボウシ	6,570	2
総本数	101,131			149,867			232,066			238,333			270,126		
上位5種	63%			55%			46%			47%			47%		
上位10種	92%			73%			61%			60%			62%		

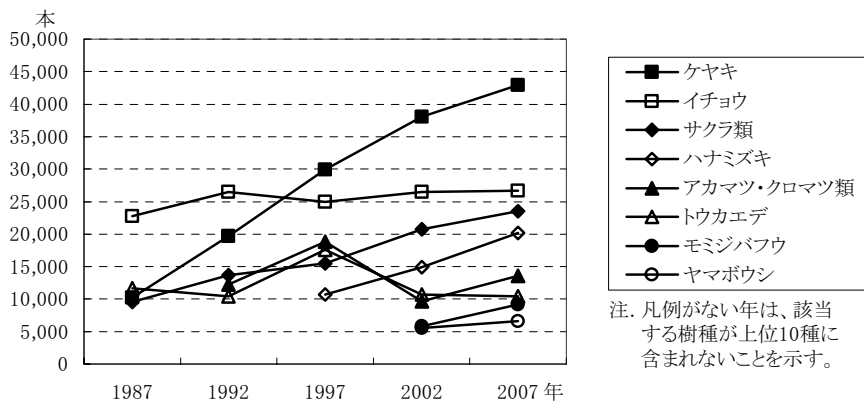


図-3.9 主要樹種本数の経年変化 (北陸)

表-3.7 高木上位10種の推移 (中部)

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	59,697	12	イチョウ	76,841	12	イチョウ	81,831	10	トウカエデ	78,095	9	トウカエデ	80,888	9
2	トウカエデ	49,243	10	トウカエデ	67,618	10	トウカエデ	73,959	9	イチョウ	76,881	9	イチョウ	80,125	9
3	サクラ類	39,977	8	サクラ類	58,020	9	サクラ類	58,341	7	サクラ類	60,004	7	サクラ類	64,799	7
4	ブラタナス類	32,220	7	ケヤキ	37,710	6	ケヤキ	49,622	6	ハナミズキ	55,989	7	ハナミズキ	60,428	7
5	ナンキンハゼ	21,855	4	ナンキンハゼ	37,099	6	ハナミズキ	41,957	5	ケヤキ	50,205	6	ケヤキ	54,765	6
6	ケヤキ	18,498	4	ブラタナス類	32,982	5	ナンキンハゼ	40,864	5	ナンキンハゼ	41,946	5	ナンキンハゼ	42,850	5
7	シダレヤナギ	16,180	3	クスノキ	22,069	3	クスノキ	28,838	3	クスノキ	33,152	4	モミジバフウ	34,652	4
8	マテバシイ	12,980	3	日本産カエデ類	20,309	3	ブラタナス類	27,707	3	シラカシ	30,254	4	クスノキ	33,590	4
9	アオギリ	12,711	3	ハナミズキ	20,140	3	日本産カエデ類	24,619	3	モミジバフウ	26,937	3	シラカシ	29,501	3
10	クスノキ	12,193	3	モミジバフウ	19,528	3	モミジバフウ	23,326	3	日本産カエデ類	23,455	3	日本産カエデ類	26,534	3
総本数	486,938			648,813			843,480			850,643			869,317		
上位5種	42%			43%			36%			38%			39%		
上位10種	57%			60%			53%			56%			58%		

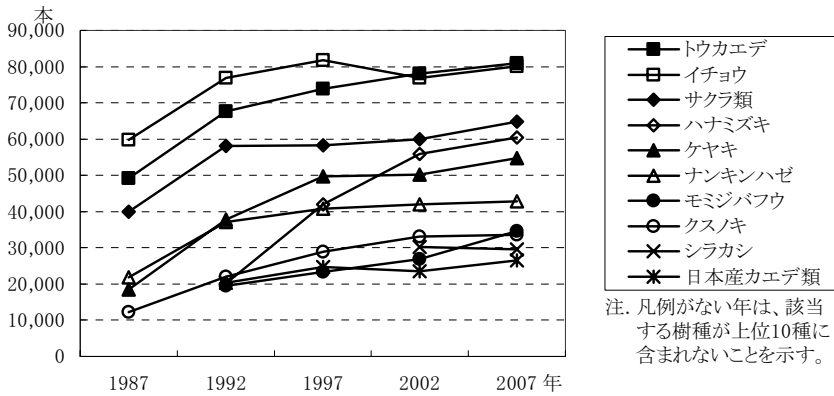


図-3.10 主要樹種本数の経年変化 (中部)

表-3.8 高木上位10種の推移 (近畿)

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	カシ類	107,483	12	イチョウ	90,363	11	イチョウ	120,353	11	イチョウ	118,996	11	イチョウ	109,488	10
2	イチョウ	99,734	11	クスノキ	67,729	8	ケヤキ	92,184	8	ケヤキ	96,751	9	ケヤキ	102,483	9
3	トウカエデ	57,351	7	ケヤキ	61,701	7	クスノキ	91,234	8	クスノキ	93,377	8	クスノキ	96,036	9
4	クスノキ	48,212	5	トウカエデ	61,207	7	トウカエデ	71,788	6	サザンカ類	72,631	7	トウカエデ	69,408	6
5	ケヤキ	48,154	5	カシ類	45,156	5	シラカシ	68,941	6	トウカエデ	70,059	6	サザンカ類	67,586	6
6	ブラタナス類	45,390	5	サクラ類	44,269	5	サクラ類	50,194	4	サクラ類	61,452	6	サクラ類	62,809	6
7	ウバメガシ	43,064	5	ウバメガシ	43,265	5	ブラタナス類	38,388	3	シラカシ	37,714	3	シラカシ	41,493	4
8	サクラ類	37,570	4	ブラタナス類	40,485	5	ナンキンハゼ	34,604	3	ハナミズキ	34,684	3	ハナミズキ	36,811	3
9	ナンキンハゼ	25,579	3	ナンキンハゼ	33,737	4	アラカシ	29,999	3	ナンキンハゼ	33,113	3	カシ類不明	36,561	3
10	シダレヤナギ	24,861	3	イブキ類	20,209	2	ヤマモモ	29,676	3	ネズミモチ類	29,320	3	ナンキンハゼ	32,057	3
総本数	878,142			853,529			1,131,750			1,099,872			1,101,415		
上位5種	41%			38%			39%			41%			40%		
上位10種	61%			60%			55%			59%			59%		

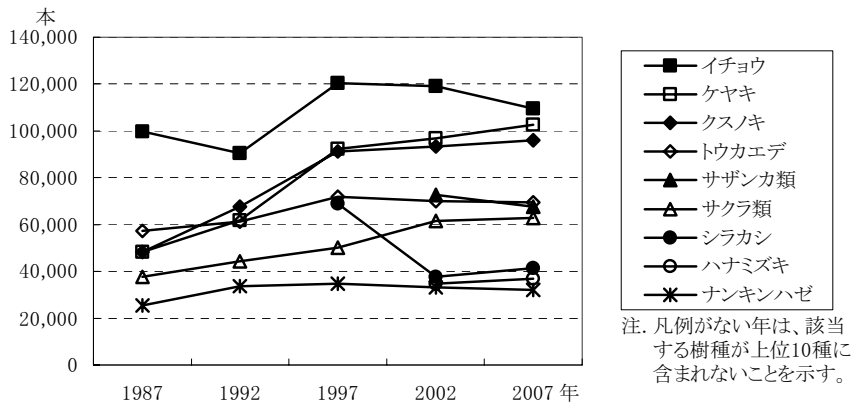


図-3.11 主要樹種本数の経年変化 (近畿)

表-3.9 高木上位10種の推移 (中国)

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ブラタナス類	17,331	11	クスノキ	20,638	10	シラカシ	52,599	12	サザンカ類	29,458	8	ケヤキ	29,095	10
2	モミジバフウ	16,121	10	モミジバフウ	20,184	10	サクラ類	32,989	7	ケヤキ	29,150	8	モミジバフウ	28,287	9
3	クスノキ	13,188	8	サクラ類	18,049	9	ケヤキ	29,844	7	モミジバフウ	27,988	8	クスノキ	23,257	8
4	イチョウ	11,744	7	ブラタナス類	17,224	8	アラカシ	26,067	6	サクラ類	23,978	7	サクラ類	21,942	7
5	ケヤキ	8,530	5	ケヤキ	15,869	8	モミジバフウ	24,946	6	クスノキ	22,697	6	サザンカ類	18,280	6
6	トウカエデ	7,283	5	イチョウ	11,476	5	クスノキ	24,645	6	イチョウ	12,442	4	イチョウ	12,099	4
7	サクラ類	6,860	4	マテバシイ	8,301	4	サザンカ類	18,512	4	シラカシ	11,855	3	クロガネモチ	11,653	4
8	カイズカイブキ	6,831	4	ヤマモモ	8,230	4	イチョウ	15,117	3	ブラタナス類	11,639	3	ブラタナス類	10,633	4
9	マテバシイ	6,211	4	トウカエデ	8,212	4	ブラタナス類	13,805	3	クロガネモチ	11,164	3	ヤマモモ	9,659	3
10	アオギリ	6,171	4	クロガネモチ	6,978	3	ウバメガシ	9,466	2	ヤマモモ	9,862	3	マテバシイ	9,084	3
総本数	157,838			211,408			441,720			350,850			298,767		
上位5種	42%			44%			38%			38%			40%		
上位10種	64%			64%			56%			54%			58%		

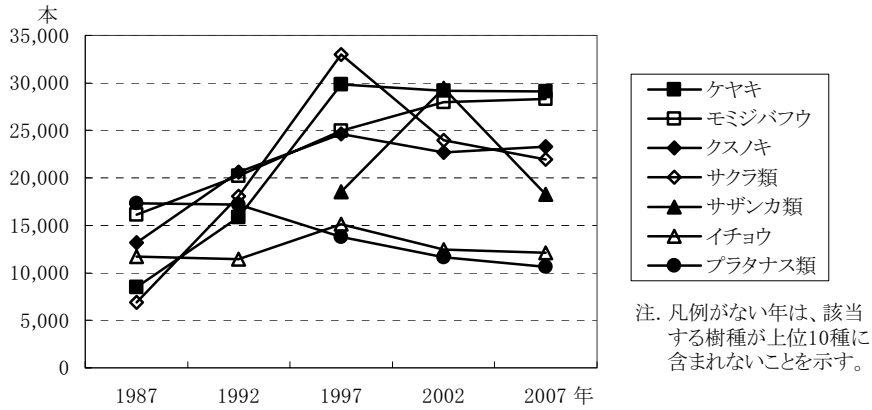


図-3.12 主要樹種本数の経年変化 (中国)

表-3.10 高木上位10種の推移 (四国)

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	クスノキ	7,226	5	クスノキ	12,710	13	クスノキ	15,354	12	クスノキ	23,109	15	モミジバフウ	40,111	17
2	ヤマモモ	5,666	4	サクラ類	7,581	8	サンゴジュ	10,202	8	ケヤキ	10,332	7	クスノキ	23,818	10
3	ブラタナス類	5,568	4	ヤマモモ	7,371	7	ケヤキ	10,099	8	ヤマモモ	9,385	6	マテバシイ	17,905	8
4	モミジバフウ	5,267	4	モミジバフウ	6,704	7	ヤマモモ	7,275	5	モミジバフウ	8,509	6	ケヤキ	13,611	6
5	イチョウ	4,751	3	トウカエデ	6,244	6	イチョウ	6,884	5	ナンキンハゼ	8,034	5	クロガネモチ	10,441	4
6	カイズカイブキ	3,821	3	イチョウ	6,084	6	マテバシイ	6,750	5	クロガネモチ	8,024	5	ヤマモモ	10,024	4
7	マテバシイ	3,625	3	ブラタナス類	5,175	5	ナンキンハゼ	6,189	5	マテバシイ	7,470	5	カナメモチ類	8,656	4
8	シダレヤナギ	3,424	2	マテバシイ	5,039	5	クロガネモチ	5,999	4	イチョウ	6,792	4	イチョウ	7,946	3
9	サクラ類	3,239	2	ケヤキ	4,929	5	サクラ類	5,158	4	サクラ類	6,197	4	サクラ類	7,872	3
10	トウカエデ	3,202	2	モミジバフウ	19,528	20	モミジバフウ	4,801	4	トウカエデ	5,575	4	ハナミズキ	7,667	3
総本数	141,415			99,868			133,418			154,621			233,633		
上位5種	20%			41%			37%			38%			45%		
上位10種	32%			81%			59%			60%			63%		

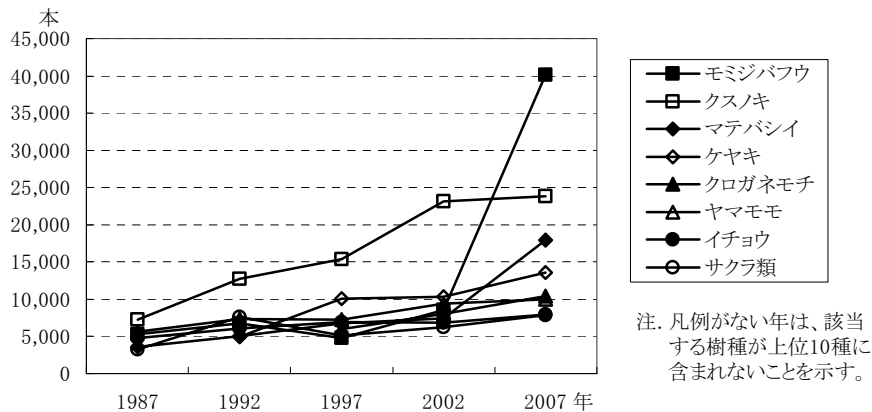


図-3.13 主要樹種本数の経年変化 (四国)

表-3.11 高木上位10種の推移（九州）

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	イチョウ	38,001	11	イチョウ	43,413	10	サクラ類	50,990	9	サクラ類	72,532	11	ケヤキ	66,501	11
2	サクラ類	30,197	9	ケヤキ	40,395	9	ケヤキ	50,446	9	ケヤキ	65,154	10	サクラ類	64,428	11
3	ホルトノキ	29,271	9	クロガネモチ	38,100	9	クロガネモチ	47,425	8	クロガネモチ	58,163	9	クロガネモチ	51,889	9
4	クスノキ	26,454	8	サクラ類	37,587	9	イチョウ	44,045	8	イチョウ	50,959	7	イチョウ	44,803	8
5	クロガネモチ	25,757	8	クスノキ	35,643	8	クスノキ	41,968	7	クスノキ	47,636	7	クスノキ	41,915	7
6	ケヤキ	18,852	6	ホルトノキ	33,643	8	ホルトノキ	39,592	7	ホルトノキ	34,203	5	ホルトノキ	31,458	5
7	カイヅカイブキ	18,830	6	ナンキンハゼ	19,105	4	サザンカ類	21,278	4	サザンカ類	26,886	4	トウカエデ	20,199	3
8	ナンキンハゼ	16,837	5	トウカエデ	16,372	4	トウカエデ	18,203	3	ナンキンハゼ	23,971	4	ハナミズキ	18,099	3
9	ヤシ類	12,399	4	イブキ類	15,817	4	ナンキンハゼ	18,112	3	トウカエデ	20,176	3	ナンキンハゼ	17,770	3
10	トウカエデ	12,101	4	モミジバフウ	11,438	3	ツバキ類	17,203	3	モミジバフウ	17,332	3	モミジバフウ	17,144	3
総本数	334,479			431,208			572,771			680,418			586,932		
上位5種	45%			45%			41%			43%			46%		
上位10種	68%			68%			61%			61%			64%		

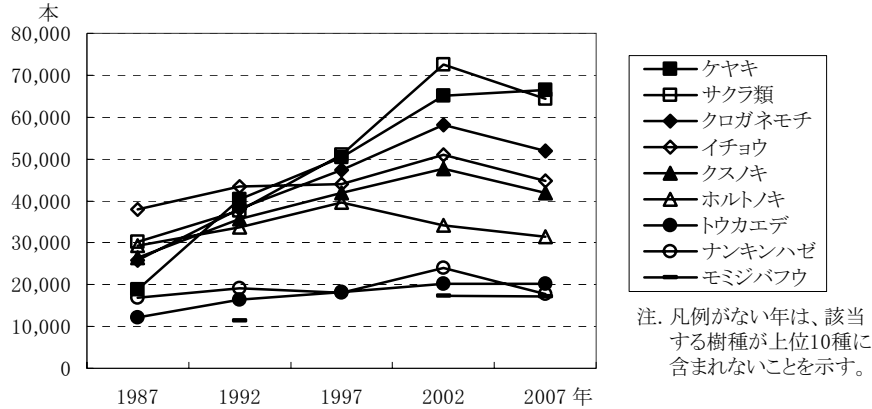


図-3.14 主要樹種本数の経年変化（九州）

表-3.12 高木上位10種の推移（沖縄）

順位	1987(昭和62)			1992(平成4)			1997(平成9)			2002(平成14)			2007(平成19)		
	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合	樹種名	本数	割合
1	ネズミモチ	16,180	14	テリハボク	19,416	12	リュウキュウマツ	26,979	12	リュウキュウマツ	31,091	12	フクギ	33,461	13
2	ヤシ類	12,182	10	リュウキュウマツ	18,197	11	テリハボク	21,843	10	フクギ	29,422	11	リュウキュウマツ	26,169	10
3	ガジュマル	10,024	9	フクギ	16,039	10	フクギ	21,057	10	テリハボク	22,055	9	リュウキュウコクタン	25,383	10
4	テリハボク	7,503	6	リュウキュウコクタン	11,067	7	リュウキュウコクタン	18,470	8	リュウキュウコクタン	13,836	5	テリハボク	15,086	6
5	イスノキ	6,814	6	イスノキ	10,058	6	ガジュマル類	14,210	6	ホルトノキ	12,701	5	ホルトノキ	12,388	5
6	フクギ	6,770	6	ホルトノキ	9,567	6	ホルトノキ	12,644	6	イスノキ	11,446	4	モモタマナ	12,033	5
7	リュウキュウマツ	6,162	5	イスマキ類	6,861	4	イスノキ	11,531	5	ガジュマル類	10,766	4	イスノキ	11,150	4
8	ホルトノキ	5,880	5	ガジュマル	6,567	4	アカギ	7,737	4	クロキ	9,715	4	ガジュマル類	10,960	4
9	モッコク	5,749	5	トックリヤシモドキ	6,090	4	トックリヤシモドキ	6,918	3	ブーゲンビレア	9,627	4	アカギ	9,445	4
10	イスマキ	4,903	4	アカギ	5,787	4	サクラ類	6,199	3	ホウオウボク	8,507	3	ホウオウボク	8,483	3
総本数	117,041			164,605			219,742			257,384			251,480		
上位5種	45%			45%			47%			42%			45%		
上位10種	70%			67%			67%			62%			65%		

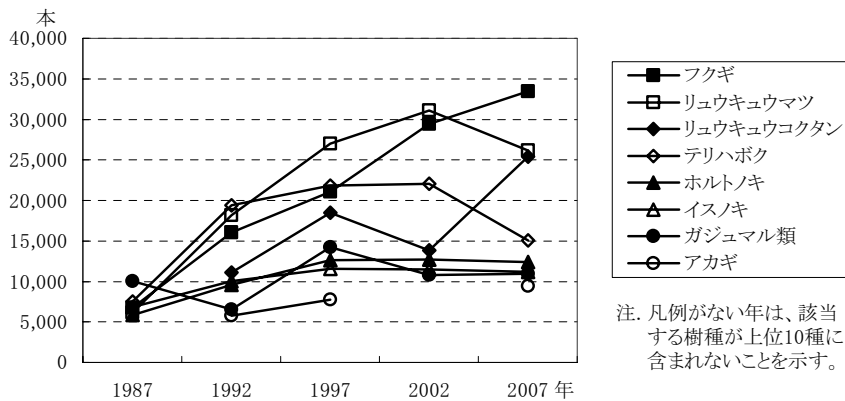


図-3.15 主要樹種本数の経年変化（沖縄）

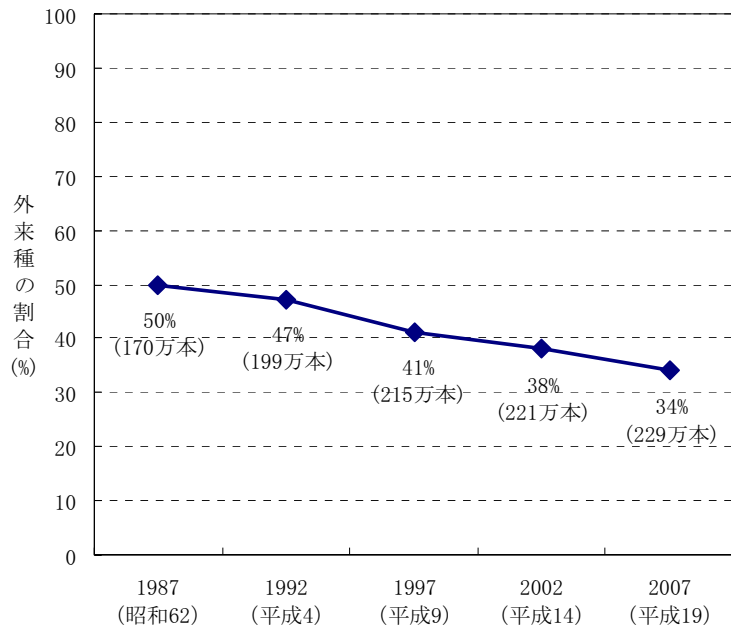


図-3.16 高木上位 50 種の合計本数のうち外来種本数が占める割合の推移

各調査の上位 50 種が総本数に占める割合は、1987 年で 88%、1992 年で 89%、1997 年で 85%、2002 年で 86%、2007 年で 84%

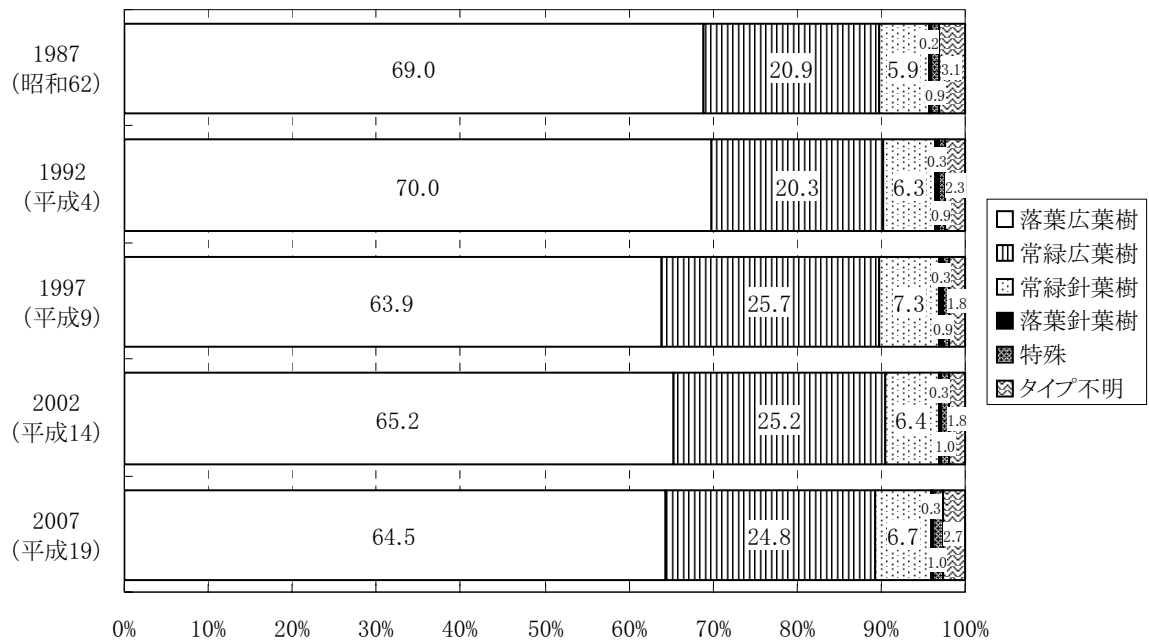


図-3.17 全国の樹木タイプの変化

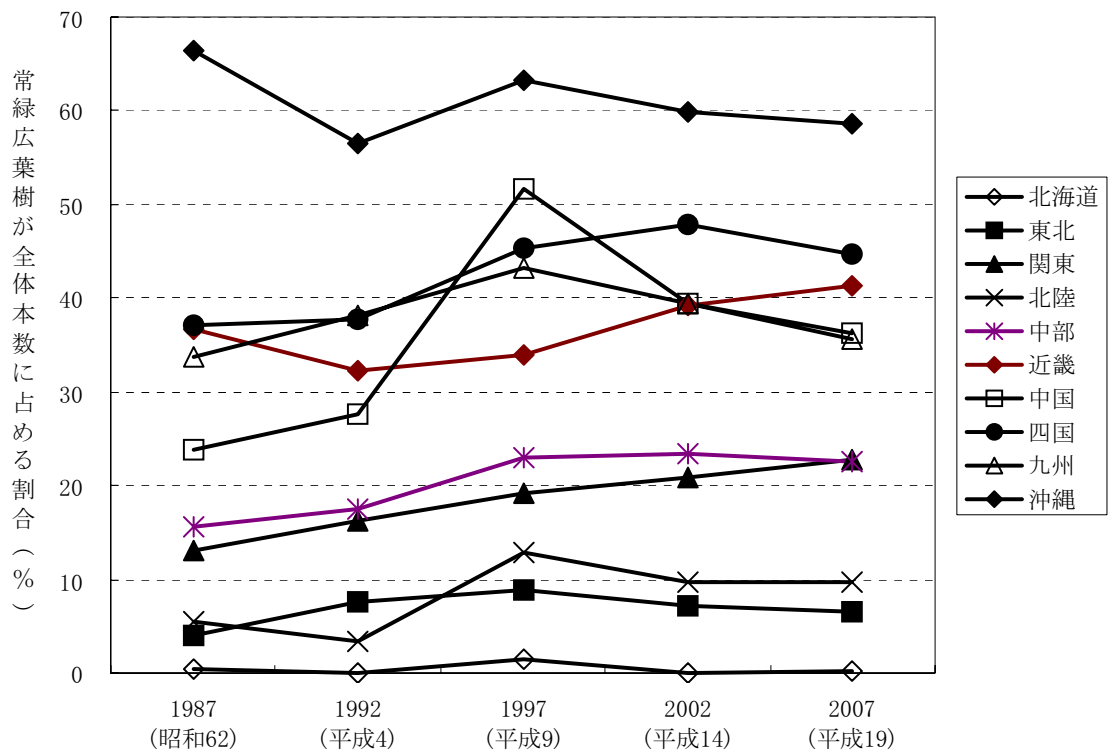


図-3.18 常緑広葉樹が全体本数に占める割合の推移